

平成 19 年度

時間外電話相談

「育児もしもしキヤッチ」

相談情報分析結果報告

あいち小児保健医療総合センター

あいち小児保健医療総合センター保健センターでは、平成 13 年 11 月のオープン時より、県民の育児不安を軽減し、県民の健やかな子育てを目的に、時間外電話相談「育児もしもしキャッチ」(以下、「育児もしもしキャッチ」)を開設している。

開設当初は、月曜日から金曜日まで開設していたが、当センターの外来診療日の変更に伴い、平成 15 年 5 月より火曜日から土曜日に相談日を開設している。

#### 「育児もしもしキャッチ」

主な相談内容	母子健康手帳を活用する年齢層の母等を対象に、健康や育児について
開設日時	火曜日から土曜日 午後 5 時から午後 9 時まで (4 時間)
相談担当者	保健師、助産師、看護師等の専門相談員が、毎回 2~3 人で対応
相談体制	当センターの保健師 1 名が遅出勤務をし、困難な相談への助言、連携の必要なケースを地域に繋ぐ役割と緊急性のある相談の場合に当直医師へ相談する等、相談員をバックアップしている。
相談記録の記載方法	相談は原則匿名としているが、相談終了時に相談者の住所、相談経路は聞いている。電話相談員が相談記録を記載し、予め設定されている「相談内容分類コード」に従い内容の分類を行っている。

#### 【分析対象・方法】

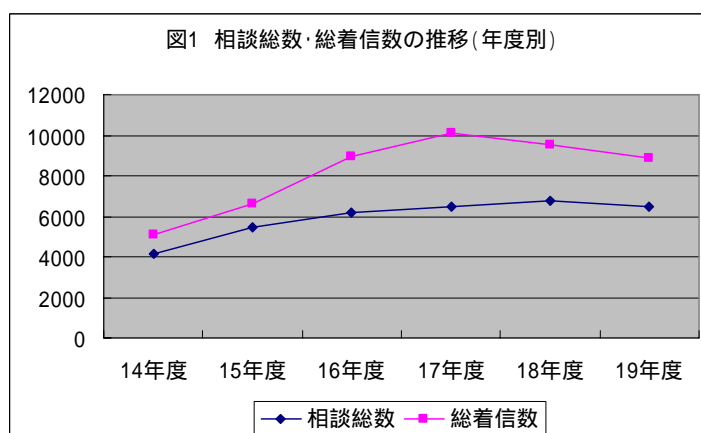
平成 19 年 4 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日までに寄せられた相談情報を保健部門のシステムに入力し、地域別利用数や相談者、相談時間、相談内容等に注目して分析した。

#### 【結果】

##### 1 相談総数・総着信数について

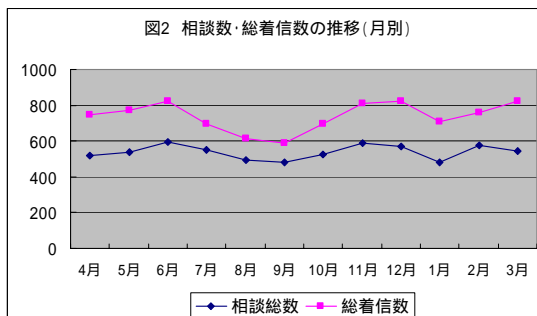
期間中の相談総数は 6,471 件、総着信数 (電話に回答中のため応答できなかった件数をあわせたもの) は 8,866 件であった。

相談総数、未着信数とも昨年度より減少し、総着信数で 645 件の減少であった。相談総数は平成 17 年度とほぼ同様であった。しかし、未着信は 2,395 件で県民のニーズを充足できていない状況



が続いている（図1）。

月別の相談数・総着信数の推移は、図2のとおりである。月別の最多相談件数は596件、1か月の平均相談件数は539.3件であった。



## 2 地域・経路について

### (1) 利用者の居住地について

相談者の居住地が把握できた

5,971件を分析した。相談は県下全域から寄せられていた。市町村別では、名古屋市からの相談件数が1,100件と最多で、以下、大府市、豊田市、一宮市と続いた。出生1,000に対する割合をみると大府市の397.3が最多で、次いで東浦町の197.3であった（資料：表1）。

### (2) 経路について

相談全体では「利用経験あり」が53.0%で最も多かった。「利用経験あり」は平成14年度（平成13年11月から15年3月、以下同じ）は2.2%、平成15年度は9.1%、平成16年度は37.1%と年々増加していたが、平成19年度は昨年度とほぼ同じであった。初回相談と思われる者は市町村（保健福祉）が12.7%と最も多かった。これは市町村等の協力を得て配布している「案内カード」を活用して、相談してきたと考えられる（資料：表2）。

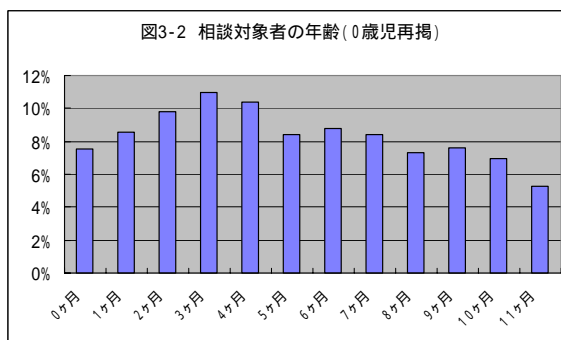
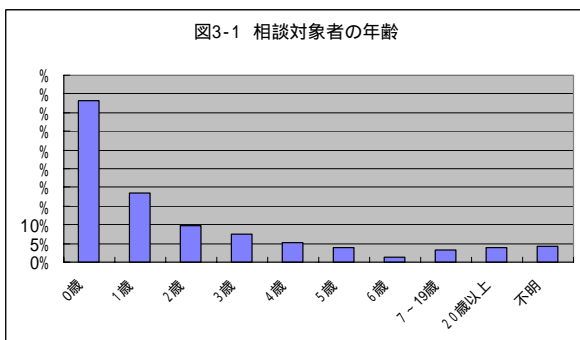
## 3 相談者・相談対象者について

相談記録では、相談者（電話をかけてきた人）の続柄を相談対象者との関係から本人、母、父、配偶者、祖父母等、兄弟、専門家、その他と分類しているが、母からの相談が93.5%と最も多かった。（資料：表3）。

相談対象者は「子ども」が6,118件（94.5%）で最も多く、「孫、姪、甥」の37件（0.6%）を加えた「子ども」の相談は6,155件（95.1%）であった。「母本人」の相談は282件（4.4%）であった（資料：表4）。

相談対象者の年齢は0歳が43.1%、1歳では0歳の4割程度に減少し、2歳では1歳の半分に、3～4歳では4割程度に減少していた（図3-1）。

乳児期（0歳）の中で最も件数が多かったのは3か月であった（図3-2）。



#### 4 相談の時間帯・所要時間・曜日について

##### (1) 時間帯・所要時間について

相談の時間帯は17時台1,648件(25.5%)と最も多く、次いで20時台が1,612件(24.9%)、19時台1,594件(24.6%)、18時台1,591件(24.6%)であった。

相談の所要時間は、15分未満が75.4%で、そのうち5~14分が5割強を占めていた。1回の相談の平均所要時間は11.3分であった。最長の相談は125分であった(資料:表5)。

##### (2) 曜日について

曜日別に1日あたりの相談件数をみると平成15年5月から開設している土曜日の相談総件数が1,113件(1回平均21.8件)と少ない。火曜日から金曜日を見ると、1回あたりの相談件数は火曜日28.4件、水曜日29.0件、木曜日28.5件、金曜日が25.2件であった(資料:表6)。

#### 5 相談内容について

##### (1) 相談内容について

相談員が相談記録作成時に分類した相談内容では、「育児相談」が6,184件(95.6%)と圧倒的に多く、次いで母性相談の172件(2.7%)であった(資料:表7)。

「育児相談」6,184件の内訳は「子どもの病気、手当て」が2,721件(44.0%)と最も多く、次いで「事故相談」の746件(12.1%)、「日常生活」の627件(10.1%)であった。

曜日別では、土曜日に「子どもの病気、手当て」の相談の割合がやや高く、「日常生活」、「性格・行動・社会性」の相談の割合が低い傾向があった(資料:表8)。

##### (2) 育児相談の内容について

育児相談6,184件の主な内容について資料:表9に示した。

###### 1) 「子どもの病気、手当て」2,721件(44.0%)

現在起きているかぜや消化器等の症状について、具体的な手当てのアドバイス、受診の要否についての相談が多かった。その他、子どもの状態について確認や不安を訴えてくる内容の相談も多かった。

(相談例)

- ・7か月児、熱が38~39で咳と鼻水が出ている。何度以上だと夜間救急にかかったほうがよいか。
- ・9か月児、本日、発熱39で受診、処方薬あり。薬は飲んでいるが熱が続く。水分摂取や離乳食は摂れる。元気もあるが尿がやや少ないか。下痢もある。このまま様子を見てよいか。
- ・3歳、お臍の上あたりが痛いといったり、痛くないといったり・・・。本日は快便なく、昨日はあった。本児には「ウンチは?」と聞いたら「ない」という。

受診するべきかどうかの判断を求めてくる相談が多い。「受診しなくても大丈夫ですよ」という回答を待っていると思われる場合やあるいは「この程度でも受診してよいのか？」など、1人で判断を迷っている母親の助けになっていると考えられる。また、「救急で受診できる医療機関を教えてほしい」と言う相談も多かった。

電話で受診の要否を判断することは難しいが、症状や受診状況等出来るだけ具体的に聞き総合的に判断し対応するようにしている。

## 2) 「事故相談」746件(12.1%)

「誤飲・誤嚥」が321件(43.0%)と最も多かった。また、事故相談全体で1歳以下の子どもについての相談は、292件(39.1%)であった。

(誤飲したもの)

文具類(紙類、ビニール、風船、クレヨン、糊など)	64件
食品(古い食べ物、アルコール等)	45件
生活用品(化学製品、防虫剤等)	36件
プラスチック(包装用品、玩具の一部等)	34件
洗剤	29件
医薬品(消毒薬、軟膏、錠剤等)	24件
たばこ	18件
生活用品(非化学製品)	8件
電池	5件

実際には、あきらかに飲み込んだ・舐めたという相談は67件(20.9%)で、その他はあった物が見当たらないので飲み込んだかもしれない、という相談であった。

受診をすぐに勧めた例は2件(5.8%)で「たばこ、洗剤」であった。

「転落」は120件(16.1%)で家具(多くはベッド)、椅子(ソファ)の順であった。事故相談時には、子どもの発達段階に応じた今後の事故の再発防止について伝えている。

## 3) 「日常生活」627件(10.1%)

「泣き」についての相談が162件(25.8%)と最も多くみられ、夜泣きやたそがれ泣きに関するものが53件(32.7%)であった。

(相談例)

- ・4か月児が夕方になると泣くので家事が進まない。他の人はどうしているのか。また、夫が育児に対して理解がなく、夫の世話が出来ないと怒るがどうしたらよいか。
- ・7か月児、何をしても泣き止まず、ついイライラして大きな声で怒鳴ってしまう。あまり泣くので可愛くなくなっている。

泣き続ける子どもにどうしたらよいのかわからないと途方にくれたり、夫な

ど家族から育児方法を責められたり、どこか悪いのではないかと不安を強くしている母からの相談であった。そんな時、相談員はまず母の話をゆっくり聴き、母の対応を振り返り、十分な対応がされていれば「お母さんが悪いのではないよ。」と母のつらさや疲れをねぎらう。場合によっては、必要と思われる対応をすべて確認し、児の安全を確認したらその場から少し離れることも必要であると伝えている。そうすることで、母自身が落ち着いてくる場合も多い。

次に多かったものは「入浴・清潔」の69件(12.3%)で基本的な育児方法を伝えることも多かった。

(相談例)

- ・2か月児、大泉門のあたりに脂漏性湿疹ができていますが「そこは触ってはいけない」と友人から言われた。どうしたらよいか。
- ・1歳8か月児、元気はあるが熱が37.7ある。食欲も普通。お風呂はどうしたらよいか。

#### 4)「授乳」470件(7.6%)

「授乳方法」に関する相談が134件(28.5%)と多く、内容は授乳間隔や回数、授乳量のムラに関するものであった。

(相談例)

- ・1か月児、1時間毎に泣くこともあり、授乳間隔が短い。吐乳もあるので心配。母乳以外の飲み物の与え方を聞きたい。
- ・生後2週間目の児、母乳育児であるが授乳後毎回吐乳する。2~3時間経過して嘔吐することもある。体重増加は順調で飲みもよく、8~9回/日の授乳。
- ・4か月児。混合栄養だが、2,3日ミルクの飲みが悪い。マニュアル通りにいかない。おしゃぶりを嫌がって使わない。指やガーゼを口に入れる。マニュアル通りにいかないと夫に叱られる。

「育児書にはこう書いてあるが。」など授乳回数、間隔が指示されたとおりに出来ないがよいかという相談も多い。子どもには個性があり、育児書どおりでないことを伝えることで安心していく。

#### 5)「家族・人間関係」376件(6.1%)

「育児不安」が220件(58.5%)で最も多く、その内174件(79.0%)がこの電話相談について「利用経験あり」であった。周囲の言葉やインターネットなど氾濫する育児情報から不安を強めていたり、子どもが年齢相当の行動をしているにもかかわらず、母は年齢以上の理解や行動を子どもに期待してしまい、イライラを募らせている様子が相談内容からうかがわれた。このような相談では、母の気持ちを聞いた上で、正しい知識や情報の取捨選択について伝えている。また、育児、家事、仕事など様々な理由で母に余裕がなく、父もまた仕事で忙しく、母の精神的な支援を時間外電話相談が担っていると考えられた。

その他、「家族内の人間関係」、「近所との付き合い方」がともに64件(17.0%)

であった。

(相談例)

- ・ 1 か月児、来月には本児を預けて職場復帰する予定。自分自身は復帰する事に不安はなかったが、周りから「小さいのにかわいそう」「そんなに働きたいの？」のと言われ心が揺れる。私は悪い事をしようとしているのか？
- ・ 7 か月男児、抱っこしても目を合わせない、インターネットで調べ、自閉症が心配。他には心配なく発育も順調。最近、小児科医師からは母の心配しすぎと言われた。夫には「またか」と言われるので相談していない。
- ・ 8 か月児。泣きやまない。オッパイもあげたし、オムツも換えたが泣き止まない。先週の日曜日に夫の両親が来て責められつらい。

## 6) その他

「虐待・虐待予防」は 27 件(0.4%)であった。精神科に通院している人や、母子家庭や DV、障害児、母自身に被虐待歴のあるものなど、育児支援が必要な家庭環境に課題を抱えるものばかりであった。

(相談例)

- ・ 10 か月児、いつも台所にたつと泣いてまとわりついてくる。火を使っているため『ダメでしょう』と何度も言うが母の言うことが通じず頭を叩いてしまった。夫の帰りは遅い。
- ・ 1 歳 3 か月児、カーツとなって子どもを叩いてしまう、母なりにがまんしているが暴言も。虐待の基準は？自分だけがこうなのか？
- ・ 1 歳 4 か月児、離乳食が進まずイライラする。低出生体重児、食が細いのは母のせい？他児と比較してイライラ、また叩きそうになったので電話した。

匿名による相談のため、まずは相談者の訴えを受け止めることを基本にしている。必要と思われる場合は地域の相談機関を具体的に挙げこれまでの利用状況を確認し、利用したことがなければ相談などを強く勧めるようにしている。中にはどこに相談しても答えがみえない状況を訴えるケースもあり、その辛さを聞くことに終始することもある。

また、「虐待・虐待予防」に分類されない育児相談の中にも「いらいらする」「怒鳴ってしまう」といった虐待に繋がりがねない相談もあり、相談者の不安を聴くことが、育児支援となり、虐待予防に繋がると感じている。

## 6 相談結果について

電話相談は原則匿名で 1 回の相談での終了が前提となっているため、利用経験がある方も継続支援とはしていない。しかし緊急性が高く、地域での支援が必要と思われるケースについては、同意を得た上で地域の保健機関等への情報提供を行っている。

## 7 まとめ

- 1) 相談件数はこの3年ほどはほぼ横ばいであるが、未着信数も毎年2,500件前後あり、県民の時間外電話相談に対する高いニーズを感じる。身近に育児を相談できる保健所、保健センター等が閉庁した後に相談窓口を開設する意義は大きく、育児支援の一つとして大きな役割を担っていると考えられる。
- 2) 利用者は母がほとんどであった。相談内容の中には、日中、身近な地域の相談窓口で対応したほうが实际的、継続的な指導ができると考えられる内容もあった。しかし、匿名であることや相談したいと思った時にすぐ相談できるのが電話相談の良さでもある。また、この相談はどこにしたらよいか迷いながら電話をかけてくる母も多く、相談機関の紹介や利用方法を伝える場となっている。必要なケースについては、市町村へ情報提供をしながら、連携を常に意識した相談体制の整備を心がけていきたい。
- 3) 孤立化している育児環境の中、「こんなことを聞いてもいいのだろうか」と気軽に相談できる窓口として、電話相談は大きな役割を果たしている。相談内容は、現在の母子保健のニーズを凝縮していると考えられる。この相談情報を今後も継続的に分析し、地域の母子保健関係者に還元することで、地域の母子保健の向上に寄与していきたい。



表1 市町村別の利用状況

資料

	市町村	件数	出生 1,000対	H18 出生数		市町村	件数	出生 1,000対	H18 出生数
1	名古屋市	1,100	55.6	19,775	32	幸田町	37	85.1	435
2	大府市	385	397.3	969	38	蟹江町	37	110.1	336
3	豊田市	370	90.7	4,081	44	大治町	37	93.7	395
4	一宮市	312	88.5	3,524	31	甚目寺町	36	77.6	464
5	春日井市	304	96.9	3,136	37	岩倉市	32	63.7	502
6	岡崎市	299	78.2	3,822	42	高浜市	30	61.9	485
7	安城市	295	141.3	2,088	45	新城市	30	94.9	316
8	刈谷市	241	139.5	1,728	47	豊山町	23	147.4	156
9	豊橋市	238	69.1	3,442	46	七宝町	22	115.8	190
10	東海市	190	150.8	1,260	33	阿久比町	21	113.5	185
11	西尾市	152	158.8	957	34	愛西市	21	43.7	481
12	半田市	122	106.6	1,144	48	美浜町	16	85.1	188
13	豊明市	121	186.2	650	40	田原市	15	27.4	547
14	稲沢市	121	98.9	1,223	52	吉良町	14	86.4	162
15	知立市	111	135.7	818	43	扶桑町	13	37.5	347
16	知多市	87	107.7	808	50	南知多町	13	83.9	155
17	東浦町	87	197.3	441	49	犬山市	12	19.6	611
18	北名古屋	81	90.4	896	51	美和町	10	51.3	195
19	尾張旭市	78	99.4	785	54	春日町	10	128.2	78
20	日進市	75	82.9	905	55	一色町	7	39.8	176
21	豊川市	74	52.1	1,421	53	大口町	6	23.7	253
22	津島市	65	107.8	603	59	小坂井町	6	33.1	181
23	清須市	62	98.4	630	56	幡豆町	2	25.6	78
24	碧南市	62	84.5	734	57	御津町	2	19.8	101
25	小牧市	54	35.3	1,529	58	飛島村	2	54.1	37
26	三好町	54	73.6	734	60	音羽町	2	22.7	88
27	江南市	54	60.9	886	61	設楽町	0	0.0	30
28	長久手町	54	101.1	534	62	東栄町	0	0.0	18
29	蒲郡市	54	80.7	669	63	豊根村	0	0.0	6
30	東郷町	51	112.3	454		愛知県下	5,971	85.3	69,999
31	弥富市	45	108.7	414		他県	193		
32	常滑市	40	105.3	380		不明	307		
33	瀬戸市	39	41.9	930		合計	6,471		
34	武豊町	38	87.8	433					

表2 年度別経路

経路	14年度		15年度		16年度		17年度		18年度		19年度	
利用経験あり	105	(2.2)	501	(9.1)	2,290	(37.1)	3,124	(48.2)	3,652	(54.2)	3,429	(53.0)
市町村・(保健福祉)	2,492	(51.4)	2,500	(45.6)	1,414	(22.9)	854	(13.2)	821	(12.2)	821	(12.7)
母子健康手帳	128	(2.6)	322	(5.9)	517	(8.4)	661	(10.2)	611	(9.1)	666	(10.3)
医療機関	328	(6.8)	63	(1.1)	377	(6.1)	303	(4.7)	343	(5.1)	379	(5.9)
保健所	475	(9.8)	667	(9.8)	565	(9.1)	376	(5.8)	340	(5.0)	387	(6.0)
友人・知人	66	(1.4)	113	(2.1)	119	(1.9)	102	(1.6)	118	(1.8)	120	(1.9)
ホームページ	25	(0.5)	36	(0.7)	74	(1.2)	76	(1.2)	81	(1.2)	112	(1.7)
子育て支援センター	37	(0.8)	16	(0.3)	35	(0.6)	24	(0.4)	43	(0.6)	35	(0.5)
院内	53	(1.1)	8	(0.1)	80	(1.3)	69	(1.1)	32	(0.5)	45	(0.7)
幼稚園・保育園等	52	(1.1)	667	(12.2)	21	(0.3)	19	(0.3)	6	(0.1)	7	(0.1)
学校	3	(0.1)	49	(0.9)	5	(0.1)	11	(0.2)	4	(0.1)	2	(0.0)
児童相談センター	19	(0.3)	16	(0.4)	10	(0.2)	7	(0.1)	9	(0.1)	4	(0.1)
その他	155	(3.6)	204	(3.7)	220	(3.6)	175	(2.6)	121	(1.8)	52	(0.8)
不明	908	(18.7)	430	(7.8)	448	(7.3)	677	(10.4)	554	(8.2)	412	(6.4)
計	4,846	(100.0)	5,488	(100.0)	6,175	(100.0)	6,478	(100.0)	6,735	(100.0)	6,471	(100.0)

13年11月から15年3月までの集計値

表3 相談者の続柄

相談者続柄	件数	
母	6,053	93.5%
本人	280	4.3%
父	46	0.7%
祖父母等	37	0.6%
配偶者	21	0.3%
きょうだい	2	0.0%
専門家等	0	0.0%
その他	8	0.1%
不明	24	0.4%
合計	6,471	100.0%

表4 相談対象者

	件数	
子ども	6,118	94.5%
本人	282	4.4%
孫・甥・姪等	37	0.6%
配偶者	14	0.2%
きょうだい	2	0.0%
患者等	0	0.0%
その他	6	0.1%
不明	12	0.2%
総計	6,471	100.0%

表5 時間帯と所要時間

所要時間	17時台	18時台	19時台	20時台	未分類	合計
5分未満	285 17.3%	315 19.8%	327 20.5%	334 20.7%	7 26.9%	1,268 19.6%
5～14分	905 54.9%	858 53.9%	901 56.5%	929 57.6%	15 57.7%	3,608 55.8%
15～29分	324 19.7%	286 18.0%	259 16.2%	257 15.9%	4 15.4%	1,130 17.5%
30～44分	86 5.2%	84 5.3%	70 4.4%	77 4.8%	0 0.0%	317 4.9%
45～59分	31 1.9%	25 1.6%	21 1.3%	15 0.9%	0 0.0%	92 1.4%
60分以上	17 1.0%	23 1.4%	16 1.0%	0 0.0%	0 0.0%	56 0.9%
全体	1,648 25.5%	1,591 24.6%	1,594 24.6%	1,612 24.9%	26 0.4%	6,471 100.0%

表6 曜日別状況

件数(平均件数)

	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	月曜日	全体
H15年度以前	2,802 19.3%	3,162 21.8%	3,341 23.1%	3,037 21.0%	502 3.5%	1,684 11.6%	14,492 100.0%
H16年度	1,264 20.5%	1,423 23.0%	1,349 21.8%	1,277 20.7%	862 14.0%		6,175 100.0%
H17年度	1,359 21.0%	1,438 22.2%	1,349 20.8%	1,267 19.6%	1,065 16.4%		6,478 100.0%
H18年度	1,289 19.1%	1,425 21.2%	1,506 22.4%	1,320 19.6%	1,195 17.7%		6,735 100.0%
H19年度 (1日平均件数)	1,221 (28.4) 18.9%	1,480 (29.0) 22.9%	1,395 (28.5) 21.6%	1,262 (25.2) 19.5%	1,113 (21.8) 17.2%		6,471 (26.5) 100.0%

H15.4以前は月曜日～金曜日で実施

H15.5以降は火曜日～土曜日で実施

表7 相談分類

相談分類	件数	
育児相談	6,184	95.6%
母性相談	172	2.7%
女性の心と体の相談	52	0.8%
思春期相談	10	0.2%
その他	53	0.8%
合計	6,471	100.0%

表8 育児相談の曜日別状況

内容	全体		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		土曜日	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
子供の病気、手当	2,721	44.0%	500	42.8%	600	42.0%	546	41.3%	513	42.7%	562	52.9%
事故相談	746	12.1%	111	9.5%	174	12.2%	181	13.7%	138	11.5%	142	13.4%
日常生活	627	10.1%	127	10.9%	159	11.1%	152	11.5%	120	10.0%	69	6.5%
授乳	470	7.6%	98	8.4%	100	7.0%	88	6.7%	92	7.7%	92	8.7%
家族・人間関係	376	6.1%	79	6.8%	89	6.2%	87	6.6%	75	6.2%	46	4.3%
発育・発達	286	4.6%	61	5.2%	66	4.6%	61	4.6%	61	5.1%	37	3.5%
食事に関する問題	277	4.5%	52	4.4%	67	4.7%	54	4.1%	73	6.1%	31	2.9%
性格、行動、社会性	275	4.4%	48	4.1%	71	5.0%	65	4.9%	54	4.5%	37	3.5%
予防接種	222	3.6%	42	3.6%	55	3.8%	43	3.3%	48	4.0%	34	3.2%
教育	81	1.3%	29	2.5%	27	1.9%	18	1.4%	6	0.5%	1	0.1%
社会資源の活用	35	0.6%	4	0.3%	7	0.5%	13	1.0%	5	0.4%	6	0.6%
虐待・虐待予防	27	0.4%	8	0.7%	4	0.3%	8	0.6%	6	0.5%	1	0.1%
アレルギーに関する問題	23	0.4%	6	0.5%	6	0.4%	3	0.2%	6	0.5%	2	0.2%
その他	18	0.3%	4	0.3%	4	0.3%	3	0.2%	4	0.3%	3	0.3%
計	6,184	100.0%	1,169	100.0%	1,429	100.0%	1,322	100.0%	1,201	100.0%	1,063	100.0%

表9 育児相談(6,184件)の主な内容

	件数		件数		件数		件数	
	2721 (44.0%)	子供の病気、手当	746 (12.1%)	事故相談	627 (10.1%)	日常生活	470 (7.6%)	授乳
主な内容	848	かぜの症状	321	誤飲・誤嚥	162	泣き	134	授乳方法
	680	消化器症状	120	転落	69	入浴・清潔	87	吐乳、溢乳
	351	皮膚症状	119	転倒	64	しつけ	52	乳汁を飲まない
	145	感染症	85	衝突	52	睡眠	27	断乳
	104	耳鼻咽喉症状	41	熱傷	48	トイレトレーニング		

	件数		件数		件数		件数	
	376 (6.1%)	家族・人間関係	286 (4.6%)	発育・発達	277 (4.5%)	食事に関する問題	275 (4.4%)	性格、行動、社会性
主な内容	220	育児不安	76	発育の評価	115	離乳食・幼児食	85	言うことを聞かない
	64	家族内の人間関係	53	言語発達	63	飲まない、食べない	43	いじめる、いじめられる
	64	近所との付き合い方	49	精神発達	19	食事のしつけ	23	習癖
	6	職場関係	45	運動発達	17	離乳準備	17	分離不安
			9	体重増加不良			16	赤ちゃん帰り

	件数		件数		件数		件数	
	222 (3.6%)	予防接種	81 (1.3%)	教育	35 (0.6%)	社会資源の活用	27 (0.4%)	虐待・虐待予防
主な内容	110	副反応	43	幼稚園、保育園	23	子育て支援	13	親への支援
	69	接種時期・方法	28	小学校			13	子どもへの虐待
	19	効果	1	中学校				

	件数		件数	
	23 (0.4%)	アレルギーに関する問題	18 (0.3%)	その他
主な内容	12	食物アレルギー	10	療育・療養に関する相談
	5	気管支喘息		
	3	アレルギー疾患全般		
	2	アトピー性皮膚炎		

編集 あいち小児保健医療総合センター  
保健センター保健室  
〒474-8710 大府市森岡町尾坂田 1 番 2  
TEL 0562-43-0500 内線 4042  
発行 平成 20 年 4 月